

[主訴]

腓腹筋痙攣、右膝内側痛

[随伴症状]

眼精疲労、高血圧、喉がいがらっぽい

口内炎なし、倦怠感なし、胃腸症状なし、吐き気なし、足冷えなし、腰痛なし、肩凝りなし、雨天悪化なし

[経過]

先日久しぶりに腓腹筋がつった。

最近1日1万～1万5千歩以上歩くことが多く疲労気味。

[望診]

体格はよい。背部ややシミあり、声に力あり、活動的。

大腿外側、後側の張りもあるせいか仰臥位で膝下とベッドの隙間が大きい。

[切診]

左右大腿外側に緊張、特に左側の緊張が強い。

腓腹筋は少々張りあり。

背部は意外と柔らかい。

胆経に張りあり。

[腹診]

全体的に柔らかい。鼠径部圧痛なし。臍下やや虚。

[脈診]

左関上重按で虚。

[証の決定]

腓腹筋痙攣は肝虚証。

その他膝痛や高血圧、眼精疲労などから肝の所見が多数見られるため肝虚熱証とする。

[治療]

陰谷、曲泉の補法。

肝兪、腎兪に間接灸。

委中瀉法。

陽陵泉、胆経実穴瀉法。

[経過]

1診から毎週来院し1ヵ月以上経過したが腓腹筋痙攣は起きていない。

今までは痙攣を止めることはできなかったが、現在は痙攣しそうになってもならず治まる。

膝痛も改善しており足取りも楽になった気がする。

鍼治療を受けている方が身体の状態がいい感じがす

るのでそのまま治療を継続するとのこと。

治療をして痛みや不調が解消されるのも嬉しいのだが、「鍼をしていると体調がいい」と言われるのがとてもうれしい。

私の目標である「自然治癒力や自己免疫力の強化」が達成された気がする。